

## 各種相談・教室 (4月)

### ◎乳児健康診査

内容：身体計測、内科診察、育児相談、歯科相談、離乳食相談

対象：平成26年7月・12月生まれ

4月8日(水) 13:00～13:30(受付) 高梁保健センター

### ◎3歳児健康診査

内容：身体計測、内科診察、歯科診察、尿検査、眼と耳のアンケート、育児相談、栄養相談、歯科相談、心理相談

対象：平成23年9月・10月生まれ

4月15日(水) 13:00～13:30(受付) 高梁保健センター

対象：平成23年8月～10月生まれ

4月17日(金) 13:00～13:30(受付) 成羽健康管理センター

■問い合わせ 健康づくり課母子保健係 ☎21-0228

### ◎親子で遊べる教室

#### ちびっこ広場

対象：おおむね1歳～就学前の幼児

4月16日(木) 10:00～11:30 成羽健康管理センター

■問い合わせ 健康づくり課母子保健係 ☎21-0228

### ◎育児相談

内容：保健相談、栄養相談、ミニ講話

持参品：母子健康手帳

対象：0歳～就学前の幼児

4月10日(金) 10:00～11:00(受付) 子育て支援センター

■問い合わせ 健康づくり課母子保健係 ☎21-0228

### ◎のびのび親子教室 (申し込みが必要です)

内容：お子さんの発達について心配をもつ親子が、遊びをとおしてコミュニケーションや関わりを学ぶ教室です。(託児可)

場所：高梁保健センター(和室)

4月13日(月) 10:30～11:30 対象：1歳児

4月27日(月) 10:30～11:30 対象：2歳児

■問い合わせ 健康づくり課母子保健係 ☎21-0228



### ◎ひよこ園(療育指導)

場所：高梁保健センター(和室)

4月9日(木) 10:00～15:30 高梁保健センター  
4月23日(木) (和室)

### ■問い合わせ・申し込み

健康づくり課母子保健係 ☎21-0228、各地域局

### ◎母子相談

月・火・木・金 9:00～16:00 子ども課相談室

### ◎家庭児童相談

月・火・水・金 9:00～16:00 子ども課相談室

■問い合わせ 子ども課子ども支援係 ☎21-0288

### 教育相談

月～金 9:00～17:00 教育委員会相談室

### ◎子どもの心とからだの総合相談(要予約)

4月9日(木) 13:00～15:00(受付) 備北保健所

■問い合わせ・予約先 備北保健所備北保健課 ☎21-2835

### ◎思春期(ひきこもり)相談(要予約)

4月21日(水) 13:30～15:30(受付) 備北保健所

■問い合わせ・予約先 備北保健所備北保健課 ☎21-2836

## ゆう・ゆうひろば (4月)

場所：子育て支援センター(順正高等看護福祉専門学校2号棟)

### ◎ゆう・ゆうタイム 10:00～11:30

月日	あそび内容
4月3日(金)	赤ちゃんタイム
4月17日(金)	赤ちゃんタイム(要予約)
4月24日(金)	もうすぐ子どもの日(要予約)

### ◎さてらいとひろば“ゆうゆう” 10:00～11:30

4月16日(木) 川上児童館

4月22日(水) 高梁市文化交流館

4月28日(火) 落合ふれあい公園

### ◎サロン 月～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00

### ◎家庭相談日 4月9日(木)、4月28日(火)

※保育士への相談やファミリーサポート事業の申し込み等は午前8時30分～午後5時15分まで受け付けています。

### ◎ファミリーデー 4月18日(土)(要予約)

※「土曜日なら子どもと一緒にひろばに行ける」というファミリーの方、ぜひご参加ください。

■問い合わせ 子育て支援センター ☎22-2450

子ども課子ども支援係 ☎21-0288

## お知らせ 子ども習字・写生・標語大会の作品を募集します

市と市子ども会連合会は、市内の小学生以下の子どもが作成・考案した習字や写生及び標語を募集します。

寄せられた作品は市が開催するイベントに展示するほか、優秀な作品を「わくわく子どもフェスタ21」で表彰します。

### ●習字の部：習字半紙に黒色の墨(墨汁)で書いたもの(長半紙は不可)。

小学低学年部門 テーマ 小学1年「つり」 小学2年「マラソン」

小学中学年部門 テーマ 小学3年「ふれあい」 小学4年「高梁川」

小学高学年部門 テーマ 小学5年「神楽の里」 小学6年「吹屋銅山」

### ●写生の部：画用紙(八つ切り)に、クレヨン・クレパス、または水彩絵の具で描いたもの。

テーマ「高梁市の景色・風景」

部門：幼年、小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年

### ●標語の部：標語は五・七・五調の川柳形式のもの。テーマに関連すれば、テーマの言葉を含まなくても可。用紙は任意。

テーマ「高梁市のよさを広く紹介するメッセージ」

部門：小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年

### ◆応募方法：市子ども会連合会所属の子ども会会員は各子ども会を通じて、その他の子どもについては直接、子ども課または各地域局に応募してください。

### ◆募集期間：4月1日(水)から5月20日(水)まで

※作品は募集期間中に作成したものに限りません。

■問い合わせ・申し込み 子ども課子ども支援係 ☎21-0288



## ◆在宅医療連携拠点事業通信◆

第14回

■問い合わせ 保険課連携推進係 ☎21-0304

### 高梁市の在宅医療の今後の展望について

今回は、高梁市における在宅医療の現状と今後の展望について、高梁市在宅医療連携拠点事業推進協議会の仲田永造会長にお話を聞いてきました。

現在の日本の医療は、「病院から在宅へ」という大きな流れがあります。実際に、自宅に戻って生活するには、在宅医療を支える専門職の役割がとても重要になります。そのとき、それぞれが専門性を十二分に発揮するためには、お互いに協力し合うことが大切です。中山間地域に位置する高梁市には、地域が持つ力と住民同士のつながりを活用し、在宅医療に関係する専門職が「在宅生活を支える」という視点が不可欠です。そこで高梁市は高梁医師会と協力し、顔の見える関係作りに努めています。例えば、在宅で生活をしている高齢者を支える訪問看護ステーションの看護師には、住民の生活や病気の不安について相談があるかもしれません。こういった相談に看護師だけで答えることは困難な場合もあります。そこで、生活のことであればケアマネジャーに、病気のことであれば医師と協力する関係があれば、安心して在宅療養ができるようになります。

仲田会長は、「つながりができたことによって、足りないところを補い合うことができるようになり、今まで以上に住民の生活を支える環境ができはじめている」と力強く説明してくださいました。これからの在宅医療の目標をお尋ねすると、「市内のどこに住んでいても同じ医療や福祉サービスが受けられるようにしたいですね」と笑顔で語ってくださいました。

先生のお話を通して、安心して地域で暮らせる高梁市であって欲しいと強く感じました。

【インタビュー】吉備国際大学社会福祉学科准教授 岡崎幸友さん

